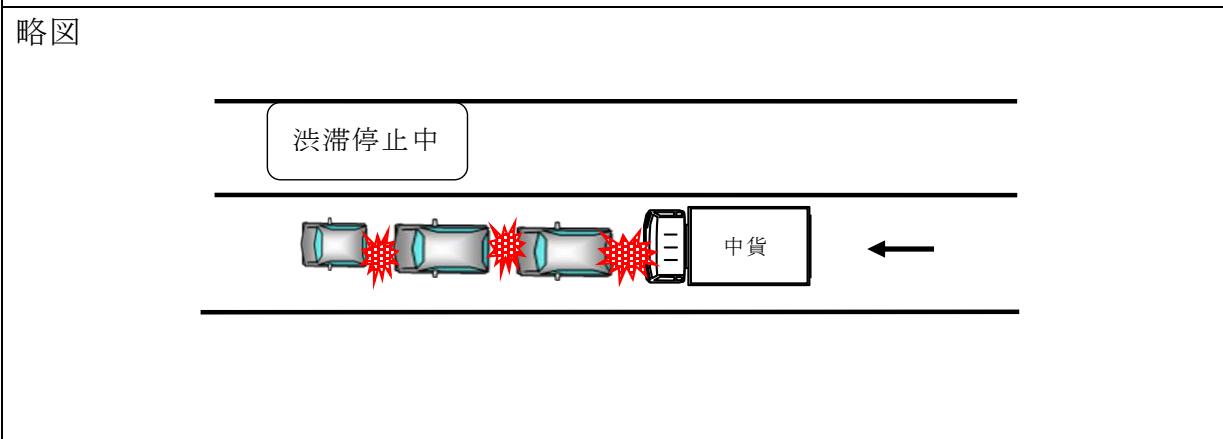


事例 1

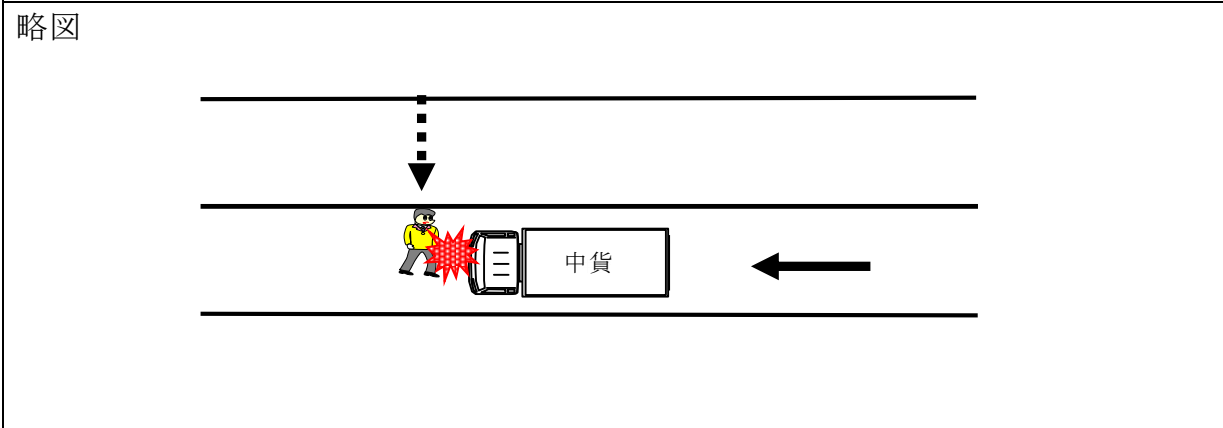
事故概要
事業用中型貨物車の運転手が、高速道路を運転中、連続勤務による過労により走行中に何度も眠気を催し、前方注視が困難な状態であったにもかかわらず運転を継続したため、仮睡状態に陥り、前方で渋滞停止中であった前車複数台に追突し、2名を死亡させた。



○ 行政処分				
過労運転	25点	合計 45点	⇒	免許取消 5年
交通事故付加点	20点			

事例 2

事故概要
事業用中型貨物車の運転手が、直線道路を進行中、脇見運転をし前方注視を怠ったまま進行したため、右から左に横断中の歩行者の発見が遅れ衝突し、死亡させた。



○ 行政処分				
安全運転義務違反	2点	合計 15点	⇒	免許取消 1年
交通事故付加点	13点			